



## 教職員向け 附属図書館各種カードのご案内

マークについて



←手形地区中央図書館  
で申請・利用可能



←本道地区医学図書館  
で申請・利用可能

各種カードの申請は、所属する地区の図書館サービスデスクで承ります！

- ・手形地区…中央図書館
- ・本道地区…医学図書館



- ◆入館ゲートの通過や図書・雑誌の貸出で必須となるカード
- ◆My Libraryの利用に必須です(学外文献複写・図書を取り寄せ、研究費での図書購入依頼、館内施設の予約等)。
- ◆発行したカードは中央・医学両館で利用可能！

【手形地区教職員のみなさまへ】

令和8年1月から、手形地区教職員の図書館利用者カード新規発行、再発行、登録内容変更のAU-CIS申請が可能になりました。学内便でのカードの受け取りも可能です。ぜひご利用ください。

▶URL(要AU-CISログイン):

[https://cis.akita-u.ac.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/workflow/send\\_form?cid=59&fid=407](https://cis.akita-u.ac.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/workflow/send_form?cid=59&fid=407)

※これまで通り図書館サービスデスクで手続きを行うことも可能です。利用者カードの即時発行を希望する方や、AU-CISでの申請ができない方は、ご来館時にサービスデスク職員にお声がけください。

※令和8年4月現在、試験運用のため、手形地区教職員の利用者登録を担当する中央図書館限定のサービスです。本道地区教職員のみなさまは、運用開始まで当面の間、医学図書館サービスデスクでのお手続きをお願いします。



図書館所蔵資料の公費によるコピーができるカード

※コピーカードの受付・発行は中央図書館のみ  
(医学図書館を含む本道地区の公費コピーカードは、図書館で管理していません。担当部署にお問い合わせください。)



夜間等の有人開館時間外に、館内資料閲覧のため入館する際、玄関の自動ドアを解錠するカードキー

※即時発行はできません。申請後数日～1週間程度お時間をいただきます。**中央図書館は運用休止中です(再開未定)**。

※有人開館時間外は、資料の館外持ち出し等、一部のサービスは利用できません。

※医学図書館の特別利用時は、ゲート通過のため「利用者カード」もご持参ください。

### Contents

- 附属図書館各種カードのご案内……………1
- 特別展示企画展 学長・学部長“おすすめ”の一冊  
～人生をゆたかにする本との出会い～……………2
- ジャーナルの評価指標「CiteScore」を紹介します /  
特設展示「三浦文庫」……………3
- 医学図書館からのお知らせ……………4

### 学生証アプリで図書館が利用できます！

今年度より導入されたスマートフォンアプリ版の学生証QRコードは、附属図書館の入館ゲートや、自動貸出機にも対応しています。

学生の皆さんはぜひご活用ください。  
※これまでのカードタイプの学生証も引き続き利用可能です。



# 特別展示企画展

【中央図書館】  
4月6日(月)  
～  
4月20日(月)

## 学長・学部長“おすすめ”の一冊

～人生をゆたかにする本との出会い～

【医学図書館】  
4月22日(火)  
～  
5月8日(金)

附属図書館では、学長、各学部の学部長、附属図書館長、医学部分館長から、学生に読んでもらいたい「おすすめの一冊」をご紹介します。

南谷 佳弘 学長

附属図書館の所蔵状況↓

### 『ホワイトカラー消滅』

富山 和彦 著 NHK出版



AIの進展や人口減少により、社会の働き方は大きく変わろうとしています。本書は「人手不足なのに人が余る」という一見矛盾した現象の背景を解き明かし、これからの時代に求められる力とは何かを考えさせてくれます。大学で学ぶ意味や、自分の専門を社会の中でどう生かすかを見つめ直す良い機会になる一冊です。将来を考える皆さんにぜひ読んでほしいと思います。

千代延 俊 附属図書館長

### 『新しい世界の資源地図』

エネルギー・気候変動・国家の衝突』

ダニエル・ヤーギン著 黒輪篤嗣訳 東洋経済新報社



お薦めの本は多くありますが、やはり秋田大学の歴史を鑑みて鉱山・資源に関する書を秋田大学の学生の皆様にお薦めしたいと考えました。日々めまぐるしく変化する世界の情勢において、本書は発行年が2020年と真の最新情報ではありませんが、地政学とエネルギー分野の変化によって、世界各国の関係・パワーバランスや気候変動対策がどのように形成されていくのかについて読み解くことができる大変貴重な書籍です。

大森 泰文 医学部分館長

### 『摘録 断腸亭日乗』上/下

永井荷風 著 磯田光一 編 岩波書店



中学・高校の日本文学史で、荷風といえば「あめりか物語」と「ふらんす物語」が有名ですが、1917年9月16日から亡くなる前日の1959年4月29日までの41年半にわたり毎日書き溜めた日記を生前から没後にわたり漸次出版していったのが「断腸亭日乗」で、書籍にすれば3000ページを超え、また死後編集部の一部は判読困難であったりということで、抜粋・編集したものが、この摘録になります。関東大震災や東京大空襲、そして敗戦、戦後復興という激動の日本社会における文壇、政界、学界、花柳界、大衆文化、舶来文化、性風俗、流行などを小気味よく漢文調で斬ったエッセイ(もしくは放言)という一面もあり、全体に漂う江戸情緒が粹でないせでもあります。荷風の完全個人主義と洒脱性、陽気なペシミズム、諦念から来る解放感が、読者のストレスを軽減してくれること請け合いです。荷風は慶應義塾の教授でもありましたが、講義中の雑談がすごがる面白かったとか。私もそうありたいと反省しきりです。

国際資源学部長 稲垣 文昭 教授

### 『孫子』上/下

海音寺 潮五郎 毎日新聞社



40年以上前に読んだ本ですが、時々妙に思い出す本です。有名な兵法書『孫子』の著者とされる孫武と孫臏を巡る物語である本書で、私が思い出すのは後半の孫臏とそのライバルである龐涓の関係性です。人の心情を理解して初めて理論たる兵法は活きて考える孫臏は、龐涓が詩歌を無駄として、兵法の理論しか学ばない姿勢を嘆きます。実際に、孫臏は龐涓の心情を巧みに読み取り戦に勝ちます。この話は、学問を社会に還元するのにどうしたら良いのかという実学のあり方を示しており、研究者になってから学問と社会との関係を考えるときに自然と思い出すエピソードとなっています。

教育文化学部長 大橋 純一 教授

### 『知の教科書 ソシユール』

加賀野井 秀一 著 講談社



本書は、現代言語学の父と呼ばれるフェルディナンド・ソシユールの理論を平易に解説した一冊です。ソシユールの思想は言語学の枠を超えて、私たちが生きる社会のあらゆる側面に深く影響を及ぼしています。「言葉とは何か」、「意味とは何か」といった根源的な問いを通じて、事物の存在や認識の仕組みを見つめ直す契機を与えてくれるでしょう。言語のみならず、哲学、文学、社会学に関心のある方にもお薦めしたい一冊です。ソシユールの知が拓く新たな世界を、この書とともに探求してみたいかがでしょうか。

医学部長 宮腰 尚久 教授

### 『いきものカタチ』

～多彩なデザインを創り出すシンプルな法則～

近藤 滋 著 Gakken



生き物の形態は実に多彩で複雑ですが、そのデザインは、実はシンプルないくつかの法則でできている、ということが書かれた本です。例えば、海洋生物でトップクラスの多様性を持つ貝類は、基本となる円錐形から、ほんの5つの数理パラメーターを変化させることで、巻き貝も二枚貝も、トゲトゲの貝も、すべて創り出すことができるのです！この本は、生き物好きの人はもちろん、デザインや美術が好きなお手軽に楽しめますし、理系学生の研究テーマのヒントにもなるでしょう。

総合環境理工学部長 寺境 光俊 教授

### 『高分子合成の実験法』

大津隆行, 木下雅悦 共著 化学同人



本書は高分子の合成について、理論的な説明は最低限にとどめ、具体的な実験法を詳しく記載していることが特徴です。合成に使用する試薬の精製、合成法、構造解析、特性解析などについて、代表的な高分子を例に具体的に記載されています。今でも普段合成していない高分子を合成しようとするときなど、参考にすることがあります。高分子を専門とする学生に一度は見ていただきたい書籍です。

情報データ科学部長 長縄 明大 教授

### 『生成AIで世界はこう変わる』

今井 翔太 著 SBクリエイティブ



生成 AI は、勉強や研究だけでなく、要約・翻訳、発想支援、資料作成、プログラミング、データ分析補助など、幅広い場面で活用が進んでいます。本書は、生成 AI の背後にある技術を概説した上で、AI 普及に伴う仕事の変化、生成 AI は創作ツールか、生成 AI とともに歩む未来などを具体例とともに示しています。専門を問わず、全ての学部の学生にとって、活用の要点とリスク・倫理を含む「適切な付き合い方」を学べる一冊です。ぜひ手に取ってください。

# ジャーナルの評価指標「CiteScore」を紹介します!

レポートや論文執筆のための参考文献を探すとき、「どの雑誌に掲載された論文か」を意識したことはありませんでしょうか。また、研究成果を発表するときに「どのジャーナルに投稿するか」で悩んだ経験はないでしょうか。各々の学術雑誌の“影響度”を示す指標が存在しており、数値を比べることにより投稿先の検討に役立ちます。その代表が「Journal Impact Factor(ジャーナル・インパクトファクター、以下JIF)」ですが、その数値を知ることができるのは、提供元であるClarivate(クラリベイト)社と契約を結んだ人や機関だけです(本学は契約していません)。一方、今回ご紹介する「**CiteScore(サイトスコア)**」は、ジャーナルの影響度を無料で誰でも知ることができる指標です。

CiteScoreは、文献データベース「**Scopus(スコープス)**」をもとに算出される指標で、あるジャーナルに掲載された論文がどれくらい引用されているかを示します。言い換えると、「そのジャーナルの論文が、他の研究でどれくらい使われているか」がわかります。数値は、過去4年間に掲載された論文数と、その論文が引用された回数をもとに計算されます。引用数を論文数で割った値で表され、数値が高いほど、引用される割合が高い雑誌といえます。JIFも引用の割合を見る指標ですが、CiteScoreは過去4年間を対象とし、比較的長いスパンの論文を含めて算出されるのに対し、JIFは過去2年間を対象としています。

CiteScoreは「Scopus」で確認することができます。図書館ホームページの**電子リソース一覧**などからScopusにアクセスし、調べたい雑誌名を入力して検索します。該当するジャーナル名をクリックすると、CiteScoreの数値を確認することができます。

一方で、こうした指標を利用する際にはいくつか注意も必要です。分野によって引用のされやすさが異なることや、数値だけで研究の質が決まるわけではないことに加え、雑誌の指標が高いからといって個々の論文の信頼性を保証するものではありません。論文を評価する際には、内容そのものを確認することが大切です。

## ※参考文献

棚橋佳子『ジャーナル・インパクトファクターの基礎知識』樹村房、2022

秋田大学附属図書館蔵書検索 <https://www.lib.akita-u.ac.jp/opac/volume/976940>

## 特設展示「三浦文庫」

【実施期間】2026年4月1日(水)～2026年5月31日(日) 【実施場所】:中央図書館2階エレベーター前

「三浦文庫」は、2001(平成13)年4月に交通事故で尊い生命を奪われた三浦 芳代子さん(当時教育文化学部3年/20歳)のご両親により秋田大学附属図書館にご寄贈いただいた心理学・犯罪被害者支援関連の図書・雑誌です。

志半ばで亡くなった三浦さんを偲び、命の大切さを改めて見つめ直す機会とするため、三浦文庫の資料の一部を展示いたします。

この機会に、ぜひお立ち寄りください。

- 教育文化学部心理学講座の鶴光代教授(当時)による紹介(「図書館だより」第55号)

<http://hdl.handle.net/10295/2589>

- 「三浦文庫」資料リスト

<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/node/49>



## 令和8年度 国試対策・学部生特別利用が始まります

国試に向けてしっかり学習できるよう、医学図書館では今年度も学部生の特別利用を実施します。

### ●特別利用の概要

医学図書館では、図書館の閉館後にも再入館して国試対策の自習ができる「特別利用」を実施しています。

平日は 22:00～24:00、土日祝日は 18:00～24:00 の時間帯が利用可能です。

※ご利用には、「特別利用カード」の申請が必要です。

※国家試験前日までに必ず特別利用カードを医学図書館へ返却してください。

### ●特別利用実施期間

2026年4月6 日(月)～2027年2月(各国家試験の前日まで)

### ●対象学生

医学科5年生・6年生、保健学科4年生 ※特別利用カードを申請し、交付された方に限る

### ●特別利用カードの申請方法

anet の「あなた宛てのお知らせ」(4月3日掲載)をご確認のうえ、メールで申請してください。

※サービスデスクでは受け付けていませんのでご注意ください。



国試に向けて頑張る皆さんを、医学図書館はこれからも応援します！



## 蔵書点検を実施しました(2026年2月25～26日)

医学図書館では、今年も蔵書点検を行いました。今回は、1 階電動書架や commons、2 階洋図書、参考図書、シラバスコーナーなど、合計 17,307 冊の資料を確認しました。

結果はなんと、紛失ゼロ！さらに、これまで「紛失」とされていた資料が 4 冊も戻ってきました。皆さまが正しく利用してくださっているおかげと感謝いたします。

資料が正しく並んでいることは、皆さまが必要な本をすぐに見つけられることにつながります。これからもどうぞ、医学図書館の資料をたくさん活用してくださいね。



## 玄関ドアがタッチスイッチ式に 変わりました(2026年1月)

昨秋、図書館周辺でクマの出没が続いたことを受け、安心してご利用いただけるよう、医学図書館玄関の自動ドアをタッチスイッチ式へ変更しました。

入館の際は、スイッチに軽く触れてドアを開けてください。

小さな変更ではありますが、より安全な環境づくりに役立てばと思います。



## 1 階 commons のエアコンを 修理しました(2026年2月)

冬季期間中、1 階 commons のエアコンが故障し、利用者の皆さまに寒い思いをさせてしまいました。ご不便をおかけし申し訳ありません。

現在は無事に修理が完了し、しっかり空調が効くようになりました。

快適な環境で勉強や作業に集中していただければ幸いです。



## 編集後記

令和8年度が始まりました。スマホアプリ版の学生証も導入され、学生の皆さんにとっては気軽に来館できるようになったのではないのでしょうか。

附属図書館では、利用者向けのパンフレット等を行行しています。附属図書館HPでも閲覧できるので、この広報誌「しゅうと！」とあわせて、ぜひご確認ください。

<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/publications>

みなさまのご来館をお待ちしております。



No. 36 令和8年 5月 7日 発行

編集・発行 ■ 秋田大学附属図書館  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

中央図書館  
TEL:018-889-2279  
FAX:018-832-4917  
MAIL:  
libriyo@jim.u.akita-u.ac.jp

医学図書館  
TEL:018-884-6052  
FAX:018-884-6252  
MAIL:  
ibun@jim.u.akita-u.ac.jp